

令和4年度後期 学校アンケートから

1 主な成果

- ・「1 学校はいじめの早期発見・早期対応に努めていると思いますか。」において、前回7月のアンケートに比べ高い評価を得ました。「心のアンケート」での調査、その後の一人一人の懇談、学年や生徒指導、管理職等チームで対応することなど、早期発見、相談しやすい関係づくりなどに心がけてきました。今後も、早期発見、早期対応を大切に取り組んでまいります。心配なことがありましたら、学校へご相談ください。
- ・「9 お子さんは、「授業がわかる」と言っていますか。」において、高い評価を得ました。算数の授業を核としながら、「仲間と共いきいきと学び続ける児童の育成」を目指してきました。どの子ども授業に参加できるように、ハンドサインで意思表示をしたり、「分からない」ことが言いやすい学級の雰囲気づくりに心がけたりしてきました。学力の定着につきましては、家庭学習も大切になってきます。見届けをお願いいたします。また、宿題や学習について心配なことがありましたら、担任へご相談ください。

2 課題

- ・瑞穂市や学校の重点活動として「14 読書、15 挨拶、16 体力づくり」については、校内では取組を進め、定着してきておりますが、アンケート結果からは、家庭では、まだ定着していないことがわかりました。挨拶については、今後も学校だけでなく、地域でも挨拶ができるように、全職員で明るい挨拶を心がけると共に児童を中心とした取組を考えていきます。地域でも、大人から声をかけていただけるとありがたいです。
- ・「自分のよいところを分かっていると思いますか。」について、学校では、「キラキラほづみっこ」で友達のよいところを知らせる活動をしています。ご家庭でもお子さんのよさを繰り返し伝えてください。このアンケートでもお子さんのよさをたくさんの保護者の方が伝えていただきました。ありがとうございました。お子さんが自分のよさを知り、自分に自信をもって新しいことにチャレンジできるよう学校でも支援していきます。

3 頂いたご意見から

- ・授業参観を増やしてほしい。
→計画した授業参観については、今後は中止にせず、分散したり、Teams を使ったりするなど方法を工夫して実施できるようにします。
- ・タブレットの持ち帰りは、毎日必要か？
→しばらくは、毎日持ち帰ります。コロナ感染やインフルエンザ等急な欠席の場合、タブレットで授業に参加することができますので、希望される場合は、学校に連絡してください。Web ラーニングや学習クラブ等を家庭学習に活用ください。タブレットの活用については、今後もよりよい活用を検討していきます。
- ・図書の本は、かばんが重くなるが、毎日持ち帰った方がよいか？
→家庭で読書する習慣がつくとよいと思います。しかし、持ち帰りについては、荷物の重さも日によって違いますので、持ち帰るかどうかは、本人に任せたいと思います。
- ・黙食をやめられないか。
→コロナの感染状況が落ち着くまでは、現状を維持します。給食時間、楽しく食事できるように、お昼の放送等を充実するよう工夫しています。
- ・健康観察を「すぐーる」で入力できないか。
→しばらくは、カードを利用します。「すぐーる」の活用については、今後市教委と共に検討していきます。

※この他のアンケート内容、宿題や授業、各学級に関すること等多くのご意見をいただきました。全職員で共通理解の場をもち、改善を図ってまいります。ご多忙のところ、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。